

家庭用保存版（令和8年6月改訂版）

令和8年6月

保護者 様

京丹波町教育委員会

「気象警報等発表時における学校等の対応」のお知らせ

令和8年5月29日から、防災気象情報の名称が新しくなり、一部の気象情報は「警戒レベル＋情報名称」で発表されます（例、レベル3大雨警報）。気象情報には十分注意してください。

テレビやラジオの放送では、これまでどおり「府県・市町村をまとめた地域の名称」（京都府南部や南丹・京丹波とひとくくりにして）で放送される場合がありますので、ご確認をお願いいたします。

なお、テレビ等で「南丹・京丹波」に警報と発表がありましても、京丹波町に警報が発令されていない場合もありますので注意してください。

	状 態	学校の対応	備 考
登 校 時	午前6時の段階で、京丹波町内に「警報」が発表継続中の場合	「臨時休校」 ◎「注意報」ではありません。 ◎ 午前6時以降に解除となっても原則休校となります。	午前6時40分までに、教育委員会から「京丹波あんしんアプリ」にて情報発信します。
	上記以外で、荒天により通学時の安全が確保できないと判断した場合	「臨時休校」	午前6時40分までに、教育委員会から「京丹波あんしんアプリ」にて情報発信します。
	午前6時以降から登校の間に「警報」が発表された場合	「自宅待機」 ◎「自宅待機」後、臨時休校になります。 ◎ 既に登校している場合は、学校待機となります。	教育委員会から自宅待機を「京丹波あんしんアプリ」にて情報発信します。また、自宅待機から臨時休校への移行についてもアプリにて情報発信します。
登 校 後	登校後に「警報」が発表された場合	状況に応じ「授業時間繰り上げ」措置をとります。 ◎ 安全確認、バスの手配、保護者への連絡等措置後、下校（若しくは安全確保まで学校待機）とします。	児童・生徒の帰宅時間が早まる場合がありますので、ご家庭が不在の場合の家の鍵等について、日ごろからお子様と十分に確認しておかれまようお願いします。
そ の 他	●震度4以上の「地震」が発生した場合	◎ 登校前に発生した場合「自宅待機」 ◎ 登校後は、安全確認後判断します。	教育委員会から「京丹波あんしんアプリ」にて情報発信します。

※ 「気象警報等」とは、「大雨」「河川氾濫」「暴風」「暴風雪」「大雪」が発表された場合及び震度4以上の「地震」を観測した場合です。

※ 「大雨」及び「河川氾濫」は「警戒レベル＋情報名称」の形で発表され、レベル3以上が「警報」にあたります。（例、レベル3大雨警報）

※ 「暴風」「暴風雪」「大雪」は従来通り情報名称のみで発表されます。（例、大雪警報）

※ 全国瞬時警報システム「Jアラート」により、京都府を含む地域を対象とする「ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」が発信された際の学校の対応は次のとおりです。

J ア ラ ー ト	京都府を含む地域を対象とする「ミサイル発射情報・避難の呼びかけ」が発信された場合	◎登校前に発信され、継続している間「自宅待機」 ◎登校後は、安全確認の後、判断をします。	①「Jアラート」に従って自宅待機・避難してください。 ②以後については教育委員会からアプリにて情報発信します。
-----------------------	--	---	--

◎令和8年5月29日から一部の警報や注意報の名称が変更されました。

一部の気象情報について、警報や注意報の名称の前に警戒レベル（災害発生の危険度に応じた避難行動を示す目安）の数字（「レベル3」など）が付記されました。臨時休校等の学校の対応は「警報」の発表を基準にしていますので、レベル3以上の警報が出ているかどうかで判断いたします。

・「河川氾濫」「大雨」の場合

「レベル〇 × × 警報」というように発表されます。

京都地方気象台

警戒レベル	対象となる災害と気象台が発表する警報や注意報の種類				(警戒レベルごとの) 住民がとるべき行動
	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地の がけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の 打上げによる浸水	
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
〈警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！〉					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は 早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認 (避難場所や避難ルート、 避難のタイミングなど)
警戒レベル 1	早期注意情報(警報急の可能性)				災害への心構えを高める

臨時休校等の
判断基準となる
気象情報の
レベル

・「暴風」「暴風雪」「大雪」の場合

「× × 警報」「× × 特別警報」というように発表されます。

特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風説、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、 着雪、霜、低温、融雪

◎大雨や河川氾濫などの警報や注意報が発表された場合には、テレビやラジオによる放送やインターネット、携帯電話などの情報提供サービスにより知ることができます。

○インターネットによる情報提供サービス

気象庁ホームページ (気象情報・注意報 市町村ページURL一覧が確認できます。) https://www.jma.go.jp/jma/index.html	
京都地方気象台ホームページ https://jma-net.go.jp/kyoto/	
国土交通省防災情報提供センター（携帯電話用） https://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html	

※ 放送等では、複数の市町村をまとめた地域の名称で情報発表される場合があり、「南丹・京丹波」に警報と発表がありましても、京丹波町に警報が発令されていない場合もありますので、ご注意ください。